



石神井南中学校 学校だより

令和 元年度 第 2 号
発行日 5月23日(木)
練馬区立石神井南中学校
校長 田 邊 克 宣

オリンピック憲章から考える

校長 田邊 克宣

2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、毎日の報道の度合も増えてきているようです。東京都では、オリンピック・パラリンピック教育の推進方針として、「ボランティアマインド」「障害者理解」「スポーツ指向」「日本人としての自覚と誇り」「豊かな国際感覚」の5つの資質を掲げています。本校では一昨年度より、生徒会が主体となって「服のちからプロジェクト」に取り組んでいますが、その活動がオリンピック・パラリンピック教育アワードの趣旨にかなうものとして、東京都教育委員会より表彰されました。国際貢献、また環境保全に対する生徒たちの主体的な活動が評価されたことを、たいへんうれしく思います。

ご存知のとおり、オリンピック憲章では次のように定められています。「このオリンピック憲章の定める権利および自由は、人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的またはその他の意見、国あるいは社会的な出身、財産、出自やその他の身分などの理由によるいかなる種類の差別も受けることなく、確実に享受されなければならない」。いろいろな特性をもった人々が、共に、笑顔で生きる世界を理想としたこの憲章の意義を理解し、実践できる子供たちを育てていきたいと思えます。

人は皆、姿形の違いは元より、思いや考えといった内面もまた千差万別で、そうした相手の全てを理解することは難しいことです。であるからこそ、互いに認め合う努力を、それぞれが少しずつ意識しながら、相手との適度な距離を測り、保つことが、人として円満な社会生活を営んでいくための一つの知恵なのではないでしょうか。付きすぎず、離れすぎない、他者との丁度よい距離が肝心の点です。

今から200年前、江戸の町には、100万人もの人々が暮らしていました。世界一の人口密度の中、「袖振り合うも他生の縁」、人々は何事につけ互いに助けたり、助けられたりしながら暮らしていたようです。「火事と喧嘩は江戸の華」とも言われますが、これは、自己主張しながらも互いに関わりをもつことをよしとし、決して無関心を決め込むことはなかったことの証でもあります。喧嘩にしても、いわゆる口喧嘩であり、周りで見ている者たちが適当なところで止めに入ったと、何かの本で読んだ覚えがあります。互いに相手を追い詰め、他人はそれを傍観するといった陰湿なものではなく、ある意味、密集して暮らす人々のストレス解消の機会ともなっていたようです。

グローバル化が進む一方で、SNSでのやりとりが日常化し、他者に対する寛容の精神がより必要性を増している昨今です。そうした中、忘れてならないのが、人との直接的な関わりです。顔を突き合わせ、面と向かって会話をする上で、時にはぶつかり合うこともあるでしょう。その際に生じる軋轢を受け流したり、やり過ぎしたり、互いに少し我慢することも、滑らかな関係を作り、維持していく知恵の一つとなるのではないのでしょうか。

因みに、江戸の町は左側通行であったとか。侍同士がすれ違う際、腰に差した大小をぶつけ合わないようにするためだそうです。そして町民もまた、往来の人混みの中を、他人とぶつからずに歩くことができ初めて“江戸っ子”と言えたとか。ぶつからないように、離れすぎないように、適度な距離を押し量って歩いていける力を、子供たちには育んでもらいたいと思えます。

さて、今月末の運動会では、石南中生が、真剣に、互いに本気でぶつかり合う姿をお見せいたします。保護者、地域の皆さまには、ぜひご来校いただき、我が子はもちろん、全ての石南中生に声援を送ってくださいますようお願い申し上げます。

オリンピック・パラリンピック教育アワード環境部門表彰

～服のちからプロジェクト～

一昨年から本校の生徒会が中心となり取り組んできたUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)とUNIQLO(ファーストリテイリング)との協賛による服のちからプロジェクトが、本年東京都教育委員会よりオリンピック・パラリンピック教育アワード環境部門より表彰を受けました。最初は杉並にある中央大学杉並高校と協力して文化発表会で家庭で使っていない新しい子ども服を集めて、アフリカの難民の子どもたちに送る取り組みからスタートし、昨年からは独自で集めた服をUNHCRやユニクロを通じて南米の難民に送る取り組みへと発展してきました。本校だけでなく、多くの人たちの協力により、さらに発展した取り組みになってきたところです。これが今年東京都教育委員会から表彰されたことにより、益々生徒たちの意欲や難民問題への関心が強まってきました。これ以外にも校長先生からの投げかけによるプラスチックストローによる環境汚染の問題などへと関心がさらに広まりました。環境問題は中学校では3年生社会科公民分野でしか取り上げられませんが、授業だけでなく、身の回りの問題として生徒たちの関心が深まっていくこと。今回の表彰はそのきっかけになったのではないかと考えています。ご家庭でも身の回りのできる環境問題への取り組みについてお話をいただければ幸いです。



5月～6月の予定

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 5月30日(木) ①②3年区学力調査 | 17日(月) 衣替え |
| 31日(金) ⑤⑥生徒総会 | 水泳指導開始 |
| 6月1日(日) 下石小運動会(本校にて) | 19日(水) 3年PTA懇談会(15:00～) |
| 5日(水) 3年修学旅行(広島・京都) | 26日(水) 定期考査(自・数・体・技家) |
| ↓ | 27日(木) 定期考査(自・社・国・音) |
| 7日(金) 修学旅行最終日 | 28日(金) 定期考査(自・理・英・美) |
| 15日(土) 土曜公開授業 | |
| 月②③④⑤ | |
| 11:30～3年第1回進路説明会 | |
| 12:45～評価保護者説明会 | |